

あと 後施工金物<梁受用>1・2・3・4 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 柱と梁、梁と梁を緊結する時に使用します。
- 後施工金物4は、せん断力のみを伝える金物(せん断キー)としても使用できます。
※詳しくはホームページの「後施工金物4 せん断キー用補足資料」をご確認ください。

特長

- 既存住宅等の耐震補強に「後施工金物」を使用することにより容易に梁増設ができます。新規梁を下から施工でき、羽子板等で施工できない場合でもビス止めなので容易に施工できる画期的な金物です。
- ビス止め金物なので新築の化粧梁等に使用でき、木材の欠損を抑えられます。
- 外壁等がある場合でも梁等の増設が容易で羽子板ボルトの施工ができない部分でも可能です。

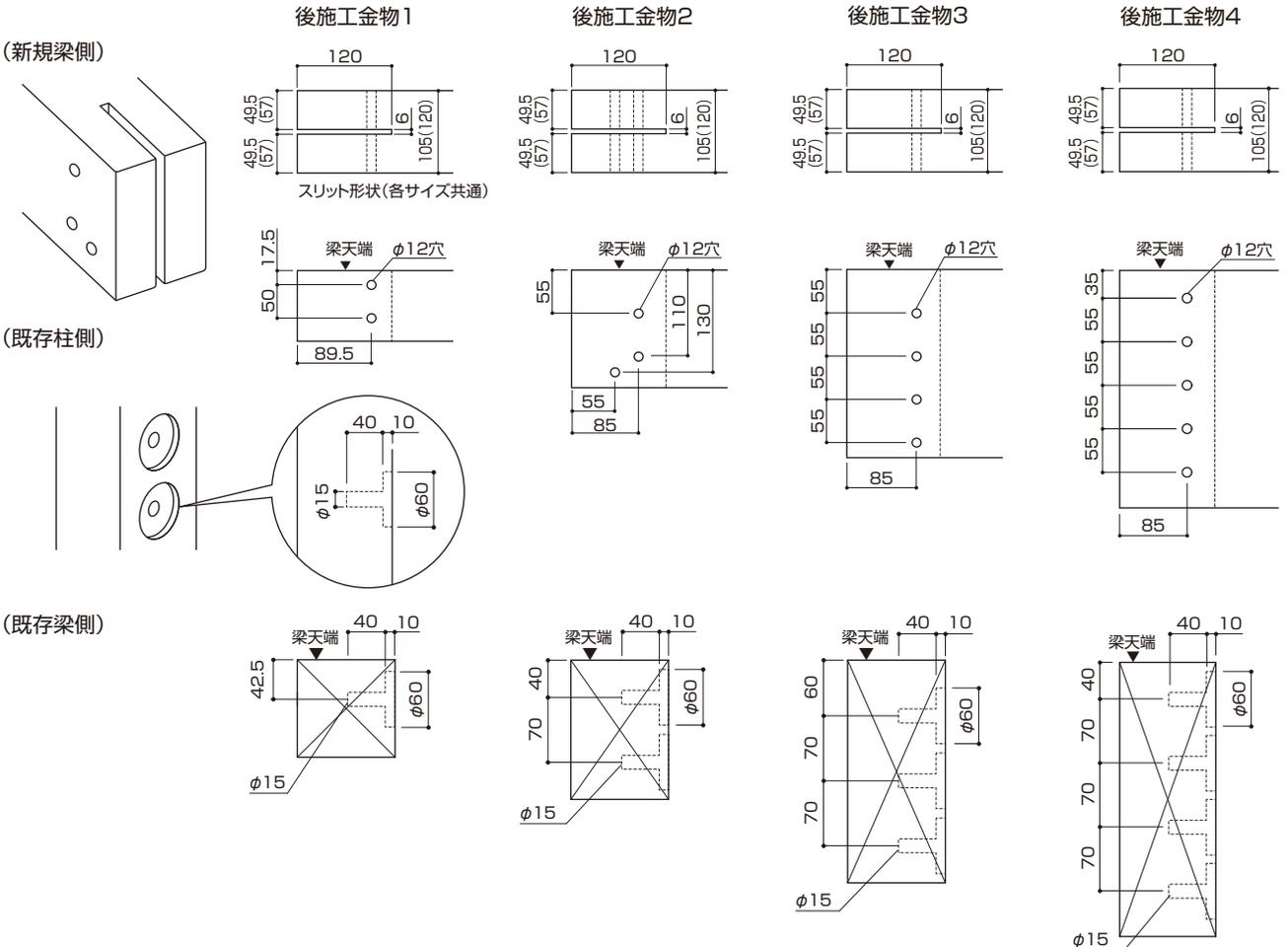
付属品

- 後施工金物1/ビスCPQ-75(Mブルー)× 6本、ドリフトピン 2本
- 後施工金物2/ビスCPQ-75(Mブルー)×12本、ドリフトピン 3本
- 後施工金物3/ビスCPQ-75(Mブルー)×18本、ドリフトピン 4本
- 後施工金物4/ビスCPQ-75(Mブルー)×24本、ドリフトピン 5本

■木材加工詳細図

後施工金物1~4(105用)

()は120用の寸法



後施工金物1・2・3 /
(一財)建材試験センター 品質性能試験報告書
ハウスプラス確認検査(株)性能試験
後施工金物4 / BXカネシン社内試験

柱 - 梁接合				
材種	既存柱/すざ、新規梁/集成材(おうしゅうあかまつ)			
型番	後施工金物1	後施工金物2	後施工金物3	後施工金物4
短期基準引張耐力(kN)	11.5	13.7	16.6	15.7※1
短期基準せん断耐力(kN)	7.6	15.2	33.8	45.2※1
梁 - 梁接合				
材種	既存梁/すざ、新規梁/集成材(おうしゅうあかまつ)			既存梁・新規梁/集成材(おうしゅうあかまつ)※2
型番	後施工金物1	後施工金物2	後施工金物3	後施工金物4
短期基準引張耐力(kN)	—	—	—	—
短期基準せん断耐力(kN)	8.7	20.0	28.1	45.6※1

※既存木材の座掘深さは、すべて10mmです。

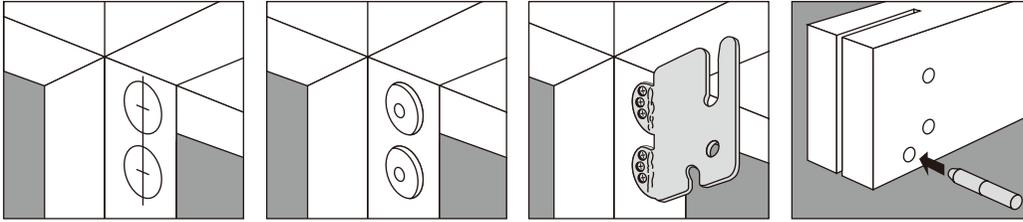
※1 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)の評価・試験方法に則り、BXカネシン社内試験により上記の性能を有することを確認しています。

※2 後施工金物1・2・3と異なり、既存梁を集成材(おうしゅうあかまつ)で確認しています。

あと 後施工金物<梁受用>1・2・3・4 取扱説明書

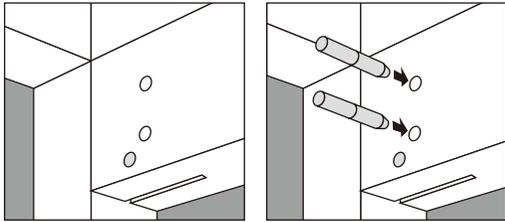
※ご使用前に必ずお読みください。

施工方法 (図は下から取り付ける場合の施工方法です。)



- ① 既存柱または梁(受材)に墨を出します。
- ② 既存柱または梁(受材)を加工します。
- ③ 既存柱または梁(受材)に付属のビスで金物を取り付けます。
- ④ 新規梁の仕口を加工し、先行ピンを打込みます。

※後施工金物1に先行ピンはありません。
 ※新規梁を上から掛ける場合は一番上の一本を、
 下から掛ける場合は一番下の一本を打込んでください。

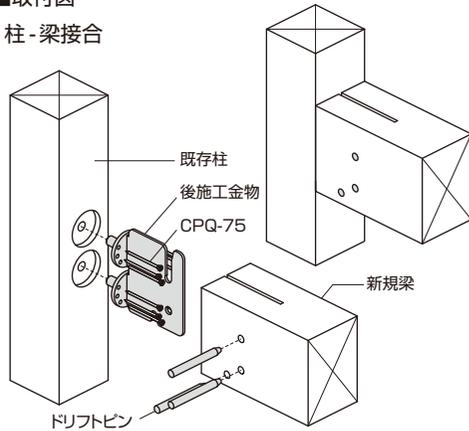


- ⑤ 新規梁を掛けます。全てのピンを打つまで梁を支持してください。
- ⑥ 残りのピンを打込み施工完了です。

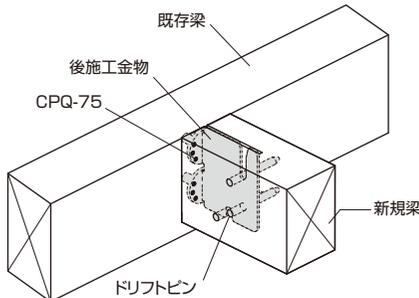
型番	対応梁成(mm)
後施工金物1(105用・120用)	105,120
後施工金物2(105用・120用)	150,180,210
後施工金物3(105用・120用)	240,270,300
後施工金物4(105用・120用)	330,360,390

取付図

柱・梁接合

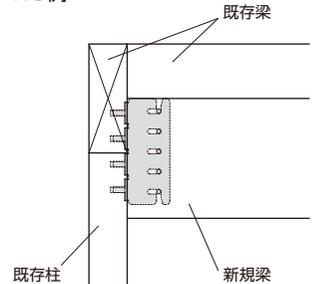


梁・梁接合



注意
 柱と梁をまたいではいけません。

NG例



注意事項

- 必ず付属のビスやドリフトピンで接合してください。
 ※ビスやドリフトピンの本数を減らしたり、付属部品以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
 ※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 座掘り深さ等加工寸法に注意して施工してください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
 技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077